

2024年度 事業計画

<概要版>

公益社団法人日本アイソトープ協会

はじめに

当協会は公益法人として、アイソトープ及び放射線の利用に係る普及啓発と技術の高度化を促進し、供給から廃棄まで一貫したアイソトープ事業の安定的な遂行を通じて、日本国内における学術及び技術の発展と国民生活の向上に貢献する。

当協会は、2024年度から2026年度までの3カ年における中期事業計画を策定した。同計画では、①将来の事業展開を見据えた保有施設や業務体制の見直しと対応、②既存業務の強化とサービスの向上、③アイソトープ・放射線利用における人材育成の3点を重点項目とした。日本国内におけるアイソトープ需要の適切な把握、安定した供給体制の整備、RI廃棄物処分に関する継続的な協力等の当協会を取り巻く事業環境に関する課題に取り組みつつ、アイソトープ、放射性医薬品及び医療機器等の安定供給並びに一般の方への普及啓発や新たな核医学治療と核医学診断に向けた人材育成等の事業を推進する。

初年度である2024年度は、中期事業課題を着実に推進するため、重点項目について組織横断的に共通認識を持ち、具体的課題を抽出する。各部の強みを最大限発揮し、協力することで課題解決の足掛かりを築く。

アイソトープ供給

アイソトープの安定供給

- 医学応用を目的とする短半減期アイソトープの安定供給に努める。
- 放射性試薬及び密封線源の安定供給に努める。
- 大学等のRI施設活用に向けたプラットフォームの利用を推進する。
- 自然災害等の緊急時の供給継続・早期復旧のための体制整備を進める。
- 引取線源の保管管理と効果的な海外引渡しを実施する。
- アイソトープの輸送従事者を対象とした講習会を開催する。

アイソトープ・放射線の校正、技術開発・研究開発

- 信頼性の高い放射線・放射能標準を供給する。
- 新たなアイソトープ利用の技術開発等を推進する。
- 標準線源等の開発、計測技術・製造技術に関する研究を推進する。

放射性医薬品

放射性医薬品原料の安定的確保、放射性医薬品の安定供給

- 医薬品原料⁹⁹Mo等の供給に関する情報収集と放射性医薬品原料の安定確保に努める。
- ⁹⁹Mo等の医薬品原料の国産化実現に向けた諸活動に参画する。
- 放射性医薬品を安定的に供給すると共に、医療機関に頒布情報を連絡する。
- 自然災害等の緊急時の供給継続・早期復旧のための体制整備を進める。
- 事業継続並びに業務効率化のための、書類等の電子化を進める。
- 放射性医薬品共同受注システム(RIOS-NET)の改善検討を行う。

放射性医薬品利用の促進

- 新規放射性医薬品の情報収集と国内導入に向けたサポートを行う。
- 新たな放射性薬剤の治験実施への放射線安全管理面でのサポートを行う。
- 医療放射線の安全管理等に関する情報提供・相談対応を行う。
- 核医学診療等に関する一般向け講習会及び輸送従事者向けの輸送講習会を開催する。

RI廃棄物管理

RI廃棄物の集荷・貯蔵・処理

- 安全かつ効率的に集荷を実施する。
- 大規模施設解体に伴う廃棄物、管理下でないアイソトープ等について適切に対応する。
- 獣医療RI廃棄物の廃棄先指定に向けた準備を開始する。
- 安全かつ適切に貯蔵管理を行い、効率的に貯蔵施設を運営する。
- 技術的知見を活用し、安全かつ効率的に処理施設を運営する。

RI廃棄物の合理的取扱いと処分に向けた取り組み

- 関係機関と連携した規制合理化に向けた検討を推進する。
- 処分実施主体との技術情報交換等、処分事業の推進に協力する。

調査研究・普及啓発

理工・ライフサイエンス部会

- 若手研究者向けの測定・安全管理に関する学習動画コンテンツを作成する。
- 国内のアイソトープ製造や供給の実態把握のための調査を行う。
- 様々な細胞標的への短飛程放射線の選択的な送達とその生物学的影響に関する情報収集及び調査を行う。
- 国内外の核医学診療の比較調査、宇宙線等の計測技術に関する調査等を実施する。
- 日本アイソトープ協会シンポジウムの企画準備を行う。

調査研究・普及啓発

医学・薬学部会

- 核医学診療や放射線治療に携わる人材の育成及び利用の普及促進に向けた活動を行う。
- 放射性医薬品や医療機器等に係る安全管理や適正使用に係るマニュアル（実施要綱）の改訂・策定を行う。
- アイソトープ内用療法講習会及び密封小線源治療講習会を開催する。
- 「PET検査件数に関するアンケート」、「放射性医薬品副作用・不良品事例調査」を実施し、結果公表する。

調査研究・普及啓発

放射線安全取扱部会

- 関東支部が担当し、長野県松本市において年次大会を開催する。
- 教育訓練講習会（e-ラーニング形式、医療従事者向け含む）を開催する。
- 支部研修会・見学会（オンライン形式、ハイブリット形式等）を開催する。
- Isotope News誌「主任者コーナー」編集、「主任者ニュース」発行等を行う。
- アイソトープ・放射線の安全取扱い技術や施設の維持管理等の知識や技能の伝承、各事業所における人材・施設等の問題点の共有化を行う。
- 法令改正に関連した情報提供や意見集約等の活動を行う。
- 講習会テキスト等の法令に関する記載内容の確認を実施する。
- 関係官公庁に係る情報収集、意見交換を進め、必要に応じて提言を行う。

調査研究・普及啓発

■ アイソトープ・放射線研究発表会

- 「第61回アイソトープ・放射線研究発表会」を開催する。

■ 講習会開催

- 放射線取扱主任者講習、第1種作業環境測定士（放射性物質）講習、放射線取扱主任者定期講習等を開催する。
- 各講習会（e-ラーニング形式を含む）を実施する。
- 核医学診療に携わる看護師向け講習会を実施する。

■ 出版及び広報活動

- 協会として特色のある図書等の頒布と法令改正に伴う図書の改訂と発行を行う。
- 機関誌Isotope News、学術誌RADIOISOTOPESを発行する。
- 出版物の販売促進、Webサイトの充実等の広報活動を展開する。

調査研究・普及啓発

試験研究等

- 国や関係機関が公募する委託調査研究等について、必要に応じて受託実施する。

表彰

- 「日本アイソトープ協会奨励賞」「RADIOISOTOPES誌論文奨励賞」「アイソトープ・放射線研究発表会若手優秀講演賞」等、優れた研究を行った個人等を表彰する。

その他の普及啓発活動

- 医療従事者を対象として、アイソトープの知識等に関するコンテンツを提供する。
- 放射線教育用線源等の貸し出しを行う。
- アイソトープ・放射線利用及び核医学等に関する常設展示の公開を行う。
- スマートフォン用放射線取扱主任者試験対策アプリを運営する。
- 川崎市が実施する科学イベントに参加する。

組織運営・特別事項

組織運営

- 人材計画を組織的に実施する。
- 社員総会等の手続きへの電磁的方法導入に向けた準備を進める。
- 定期的にメールマガジンを発行する。
- 安定的かつ効率的に運用可能な新基幹システムの設計・開発を進める。

特別事項

- 駒込本部、川崎技術開発センターの運営体制について検討する。
- 研修施設を除く本部RI施設の廃止措置作業を進めると共に、排水設備の解体作業に着手する。

財務運営

安定運営

- 法令改正への対応等、財務運営体制の構築を目指し、人材及びインフラの安定化、発展に繋げる。

財務戦略

- 経常損益の黒字を達成し、財務基盤の安定維持に努める。
- 今後数年間に予測される財務状況の変化に対し、新たな財務戦略を検討する。

資金管理運用

- リスク管理を行いつつ、安定した運用収益の確保に努める。
- 企業年金の運用について、内閣府の「アセットオーナーシップ改革」の動向を注視しながら取り組む。



公益社団法人

日本アイソトープ協会

Japan Radioisotope Association